

# 2

災害対応力を育てる - 取り組み事例紹介 -

## (2) 住之江区防災クイズ - ICTを活用した防災意識の啓発 -

「住之江区防災クイズ」は、住之江区民の皆様を手軽に防災・減災に関する知識を身につけていただくことを目的に、一般的なことに加えて区の地域特性などを踏まえて2軸12項目で構成しています。

実施時期は、阪神・淡路大震災発生から25年目の2020年1月17日開始のPART1と1月24日開始のPART2の2回、各6問として、今回は試験運用として実施しました。

また、2回のクイズに全問回答いただいた方のうち、2月24日住之江小学校にて開催する「みんなで話そう防災カフェ」にご参加いただいた方には、防災グッズとして役立つ「パラコードブレスレット作成キット」をプレゼントすることとして、意識から行動への誘導を試みました。

広報については、住之江区役所が区ホームページ(図1)で周知されました。また、CERDホームページでも並行して掲載しました。

クイズに回答する際には、①メールアドレス、②氏名、③性別、④年齢、⑤住戸の階を問うこととしています(図2参照)。

クイズの内容は、PART1は南海トラフ巨大地震を想定した家庭での備えや被害想定

トップページ > 防災・防犯 > 防災 > 防災のお知らせ > 防災のお願い > 住之江区防災クイズ

### 住之江区防災クイズ

ページ番号：491994 2020年1月27日

#### 住之江区防災クイズpart2

これは、住之江区民の皆さまに手軽に防災・減災に関する知識を身につけていただくことを目的に、大阪市立大学都市防災教育研究センター（CERD）に監修をいただき作成している防災クイズです。

今回は試験運用とし、1月17日開始のPART1と1月24日開始のPART2の2回（各6問）防災クイズを実施しています。

2回のクイズに全問回答いただいた方のうち、2月24日住之江小学校にて開催する『みんなで話そう防災カフェ』にご参加いただいた方には、防災グッズとして役立つ『パラコードブレスレット作成キット』をプレゼントします。

防災クイズ PART2は [こちら](#)

防災クイズ PART1は [こちら](#)

SNSリンクは別ウィンドウで開きます

このページに対してご意見をお聞かせください [+入力欄を開く](#)

#### このページの作成者・問合せ先

大阪市住之江区役所 協働まちづくり課  
〒559-8601 大阪市住之江区御崎3丁目1番17号（住之江区役所4階）  
電話：06-6682-9734  
ファックス：06-6686-2040  
[メール送信フォーム](#)

図1 住之江区ホームページによるクイズ周知ページ

を、PART2は一般的な知識を中心に構成しています。

クイズは3択形式として、回答後セルフチェックできるよう正解・不正解とともにフィードバックとして解説を挿入しています。

2019年度は試行実施としていますので、回答者数、回答者属性などの結果を検証し、必要に応じて改善を図り、2020年度のクイズに反映していくこととしています。また、「シビックテック」といった、市民がICT技術を活用して社会課題を解決する取り組み手法を、このクイズの企画のプロセスで活用していく予定としています。

クイズの内容は次の通りです。

図2 住之江区ホームページによるクイズページ

## ◎ PART1

### 1 南海トラフ巨大地震を想定した住之江区における最大津波水位はどれでしょうか。

5.1m(正解)、  10.2m、  15.3m

#### 【フィードバック】

5.1mの高さは、建物の2階を水没させる高さです。津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくとつれ、減速した波の前方部に後方部が追いつくことで、波高が高くなります。水深が浅いところで遅くなるといっても、人が走って逃げ切れるものではありません。

津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合わないのです。実際に津波が見えなくても、速やかに避難しましょう。

津波は陸地を駆け上がる(遡上する)こともあります。また、反射を繰り返すことで何回も押し寄せたり、複数の波が重なって著しく高い波となることもあります。

このため、最初の波が一番大きいとは限らず、後で来襲する津波のほうが高くなることもありま

す。また、「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。

地震を発生させた地下の断層の傾きや方向によっては、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係によっては、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せる場合もあります。津波は引き波で始まるとは限らないのです。

いざというときに安全に避難できるよう、安全な避難先(災害時避難所・津波避難ビル等)や避難経路を普段から確認しておきましょう。

また、大規模な災害が発生した場合、災害時避難所が大混雑することが予想されます。避難所が遠い場合、高齢の方などは避難に時間がかかることが予想されます。

これらの避難所だけでなく、近隣のマンションやビルなどに一時的な避難ができるよう、あらかじめ管理者等と話し合うなどし、複数の避難先を確保しておくことも大切です。

## 2 南海トラフ巨大地震の発生を想定した住之江区における最短津波到達時間はどれでしょうか。

35分、  110分(正解)、  140分

### 【フィードバック】

110分で安全な場所に避難が完了できるよう、堅固で高い安全な避難先(災害時避難所・津波避難ビル等)や避難経路を普段から確認しておき、非常用持出し品は必要な物を必要な時にサッと持ち出せる場所に置くなど、普段から準備点検しておきましょう。

また、大規模な災害が発生した場合、災害時避難所が大混雑することが予想されます。避難所が遠い場合、高齢の方などは避難に時間がかかることが予想されます。

これらの避難場所だけでなく、近隣のマンションやビルなどに一時的な避難ができるよう、あらかじめ管理者等と話し合うなどし、複数の避難場所を確保しておくことも大切です。

## 3 南海トラフ巨大地震の発生を想定した住之江区における震度はどれでしょうか？

震度5弱以下(耐震性の低い木造住宅でも軽微なひび割れや亀裂が生じる程度)

震度5強から6弱(耐震性の低い木造住宅が傾いたり、倒れるものもある)

震度6強以上(耐震性の低い木造住宅の多くが傾いたり、倒れる)(正解)

### 【フィードバック】

住之江区の被害想定は震度5強～6弱、長い時間揺れが続くため液状化の可能性もあります。

南海トラフ巨大地震では、関東から四国、九州にかけて極めて広い範囲で著しい揺れが生じるおそれがあります。揺れを感じたらまず身を守る行動をとってください。

① 自宅: テーブルやベッドの下などにもぐって身を守る。適切な場所がないときは、手近のクッションなどで頭を保護しましょう。

② 屋外: 手荷物などで頭を守り、広場などへ移動する。ガラスや看板などの落下物に注意し、プロッ

ク塀や門柱から離れ、自動販売機の転倒にも注意しましょう。

- ③ 沿岸部:直ちに高台や近隣の高い建物、指定の避難場所へ逃げましょう。
- ④ 地下街:地下街は他の建物に比べて構造的に強くできています。あわてて地上に飛び出さず、揺れがおさまるまで大きな柱や壁のそばで身を守りましょう。

#### 4 南海トラフなどの巨大地震に備えて飲料水は、一人当たり一日どれくらいの量の備えが必要でしょうか。

- 1リットル、  3リットル(正解)、  5リットル

##### 【フィードバック】

飲料水は一日3リットルを目安に備えておきましょう。

いざという時に飲料水は命を守るために何よりも大切です。日ごろからしっかりと備えておきましょう。

また、断水に備えてトイレの対策も重要です。トイレが使えないことで、水分や食事を控えてしまいがちです。その結果、脱水症状になるほか、慢性疾患が悪化するなどして体調を崩し、エコノミークラス症候群や脳梗塞、心筋梗塞で命を落とすことにもなります。災害用備蓄トイレを備えるなど、対策を立てておきましょう。

#### 5 南海トラフなどの巨大地震に備えて最低どれくらいの非常食を用意するのが良いでしょうか。

- 3日間分、  5日間分、  7日間分(正解)

##### 【フィードバック】

広域に被害が予想される南海トラフ巨大地震などに備えると、7日間以上の確保が必要です。家族の人数に合わせて必要な量を準備しておきましょう。無理のない備蓄法として、日常の中に食料備蓄を取り込む「ローリングストック」という考え方もあります。普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。

#### 6 家にいる時に地震が起きました。まずすべきことは何でしょうか？

- 急いで家から逃げる
- 急いで火を消す
- 机の下に隠れるか、物が倒れてこないところに逃げる(正解)

##### 【フィードバック】

家からすぐに飛び出すと、落下物や割れたガラスでケガをする恐れがあります。

また、揺れている間に無理に火を消そうとすることは危険です。

まずは、命を守る行動が最優先です。

## ◎PART2

### 1 自然災害への備えとして普段から確認しておくべき重要度の高いことはどれでしょうか。

- ショッピングセンターの開業時間
- 最寄りの銭湯の位置
- 水害等のハザードマップによる自宅の災害想定(正解)

#### 【フィードバック】

大阪市が発行しているハザードマップは、水害などの自然災害による被害を予測して、地図に書き起こしたものです。避難経路を確認するためにも役立ちます。住んでいる町のハザードマップを確認しておきましょう。

また、この他「市民防災マニュアル」や「住之江区防災マップ」なども確認し、それぞれのご家庭に応じた「防災アクションプラン(避難行動計画)」を作成しておきましょう。

### 2 エレベーターに乗っているときに地震が発生した場合、最も適切な行動はどれでしょうか。

- 1階のボタンを押す
- じっとして様子を見る
- すべての階のボタンを押す(正解)

#### 【フィードバック】

すべての階のボタンを押し、最初に止まった階でエレベーターから降りましょう。

揺れを感じると最寄階で自動的に停止する安全装置がついたエレベーターもありますが、ご自身ですべての行き先階ボタンを押し、最初に停止した階でおりにください。

万一閉じ込められたら、インターホンで通報してください。停電しても、あわてずに救助を待ちましょう。

### 3 地震発生直後の避難の方法で最も適切なものはどれでしょうか。

- 可能な限りの荷物を両手に持って避難する
- 一人で素早く避難する
- 近所の人と声を掛け合って避難する(正解)

#### 【フィードバック】

単独行動は危険を伴うことがあります。また、荷物で両手がふさがってしまうことも避難の妨げになる場合があります。近所の人と声を掛け合って避難しましょう。

4 大地震により通勤先などからの帰宅が困難になった場合に備えて、普段から取り組んでおくべきことはどれでしょうか。

- すぐに交通機関で帰宅できるように、周辺の駅や路線を複数調べておく。
- 自宅まで距離が遠いなど徒歩での帰宅が困難な場合は、混雑を避け、翌日以降に帰宅できるよう、食糧や飲料水を備蓄するなど職場に泊まれる準備をしておく。(正解)
- 家族に車で迎えに来てもらうよう頼んでおく。

【フィードバック】

大きな地震が起こると多くの交通機関が運休します。また、二次災害(火災、建物からの落下物、集団転倒)に巻き込まれる恐れがあるため、むやみに移動を開始しないことが大切です。正確な情報を収集し、家族の無事も確認しましょう。

5 阪神・淡路大震災の時に、倒壊した建物から助け出され生き延びることができた人は、家族も含む「自助」・ご近所や友人などの「共助」の力が大きかったという調査結果があります。「自助・共助」による救出された割合はどの程度だったでしょうか？

- 「自助・共助」が3割～5割
- 「自助・共助」が6割～8割
- 「自助・共助」が9割以上(正解)

【フィードバック】

現在想定されている南海トラフ地震のような広域的な大規模災害が発生した場合には、公助の限界についての懸念も指摘されています。事実、阪神・淡路大震災では、7割弱が家族も含む「自助」、3割が隣人等の「共助」により救出されており、「公助」である救助隊による救出は数%に過ぎなかったという調査結果があります。

災害を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、一人一人が減災意識を高め、具体的な行動を起こすことが重要です。

6 熊本地震では、街に電気が復旧するまでにどのくらいの日数がかかったでしょうか。

- 停電しなかった
- 3日
- 7日(正解)

【フィードバック】

熊本地震では、電気が復旧するまでの日数は約7日(倒壊家屋を除く)。一方、水道は7日(仮復旧)、ガスは16日と期日を要しました。災害に備えて、加熱しなくてもよい食糧やカセットコンロを備えておく役立ちます。